



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <https://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 馬島 秀彰 TEL 03(3663)3111
 グループ戦略企画部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	53,314	△6.2	2,151	△30.1	1,727	△43.5	440	△73.8
2020年3月期第2四半期	56,861	11.4	3,078	89.9	3,054	△38.5	1,677	△46.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 626百万円 (△66.6%) 2020年3月期第2四半期 1,878百万円 (△39.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	17.13	—
2020年3月期第2四半期	63.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	136,103	92,268	60.6	3,210.57
2020年3月期	141,705	92,395	58.4	3,218.77

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 82,516百万円 2020年3月期 82,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.0	4,800	△1.0	4,800	△3.7	2,400	△0.9	93.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、【添付資料】8ページ「2.（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 会計方針の変更」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	28,333,480株	2020年3月期	28,333,480株
2021年3月期2Q	2,631,985株	2020年3月期	2,631,827株
2021年3月期2Q	25,701,563株	2020年3月期2Q	26,245,255株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきまして、当社グループは、各社間の連携を推進し、引き続き既存事業の基盤強化と成長領域の事業拡大に取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染再拡大により、欧州の一部地域で外出規制再強化の動きがみられるなど、世界経済の先行き不透明感は依然として強く、当社グループにおきましても各社の販売状況への悪影響は継続しております。

このような状況下、フードサイエンス事業の増益、中国関連会社（持分法適用）における販売量の増加による増益などの好要因もあった一方、受取ロイヤリティーの減少、不動産事業における長田工場跡地の再開発に係る工事の実施、サトウキビ不足によるタイ関連会社（持分法適用）収益の回復遅れなどにより、グループ全体としましては、前年同期比で減収減益となりました。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、一時は約13年ぶりの安値となる9セント台まで急落した後、新型コロナウイルスの今後の見通しと砂糖需給を巡る思惑が交錯しながらも、後半は緩やかな上昇基調で推移いたしました。9月には世界的な金融緩和による投機資金の流入もあり、13セント前半で当第2四半期末を迎えました。

販売面では、新型コロナウイルスの影響が引き続き大きく、夏季イベントの中止や帰省自粛などにより、外食向けや飲料品などの業務用製品の国内出荷が減少しました。経済活動との両立のための政府の各種施策などにより、9月下旬には業務用・家庭用ともに出荷は上向いてまいりましたが、本格的に回復するまでには至っておりません。生産面において販売量の下方修正に合わせた調整を行い、安定操業に努めたものの、減収減益となりました。

連結子会社では、生和糖業(株)は、サトウキビ生産増や歩留まりの向上による原価率の大幅改善などにより増収増益となりました。一方、北海道糖業(株)は販売量の減少などにより、また、SIS' 88 Pte Ltdはシンガポール国内での外出規制による家庭用需要の増加がありましたが、収益回復までには至らず、それぞれ減収減益となりました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高42,695百万円、営業利益1,249百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて187円～188円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 10.39セント 高値 13.28セント 安値 9.05セント 終値 13.07セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、パラチノースの海外向け販売量が堅調に推移し、さとうきび抽出物の除菌用途への需要が国内外ともに伸長したことから、前年同期並の売上高を計上し、増益となりました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノスは、乳酸菌の販売量増加や前期に実施した生産集約に伴う原価率の改善などにより増収増益となりました。ニュートリー(株)は、新型コロナウイルスの影響に伴い営業活動を自粛せざるを得ず減収となりましたが、販売管理費の改善もあり増益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高9,631百万円、営業利益459百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、前年同期並の売上高を計上しましたが、施設の老朽化に伴う修繕工事の実施などにより減益となり、売上高986百万円、営業利益441百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は53,314百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は2,151百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

営業外損益においては、フィンゴリモド「FTY720」の開発権及び販売権の許諾に基づく受取ロイヤリティーを284百万円計上いたしました。なお、当社の共同特許権者である田辺三菱製薬(株)とNovartis Pharma AG（以下「ノバルティス社」という。）との間で仲裁手続きが進行中であることを受け、ノバルティス社が契約の有効性に関し疑義を提起している部分につきましては、引き続き収益としては認識しておりません。また、前年同期より改善したものの、持分法による投資損失の計上などもあり、経常利益は1,727百万円（前年同期比43.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は440百万円（前年同期比73.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比5,601百万円減少し136,103百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比5,086百万円減少し52,069百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加2,134百万円、原材料及び貯蔵品の増加465百万円、その他流動資産の増加1,243百万円等があった一方で、商品及び製品の減少9,339百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比514百万円減少し84,034百万円となりました。これは主として、繰延税金資産の増加630百万円、関係会社出資金の増加416百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少882百万円、投資有価証券の減少890百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比5,474百万円減少し43,834百万円となりました。これは主として、その他固定負債の増加2,637百万円等があった一方で、支払手形及び買掛金の減少1,350百万円、借入金の減少6,132百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比127百万円減少し92,268百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益440百万円、剰余金の配当642百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月15日に公表の通りであります。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大がより深刻化するなどし、連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,520	17,654
受取手形及び売掛金	9,280	9,793
商品及び製品	22,634	13,294
仕掛品	1,342	1,238
原材料及び貯蔵品	4,947	5,413
その他	3,437	4,680
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	57,156	52,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,418	40,540
減価償却累計額	△25,170	△25,114
建物及び構築物(純額)	15,248	15,426
機械装置及び運搬具	85,801	86,217
減価償却累計額	△66,973	△68,272
機械装置及び運搬具(純額)	18,827	17,945
工具、器具及び備品	2,711	2,780
減価償却累計額	△2,189	△2,243
工具、器具及び備品(純額)	521	537
土地	18,148	18,148
リース資産	915	1,462
減価償却累計額	△587	△749
リース資産(純額)	327	713
建設仮勘定	788	1,021
有形固定資産合計	53,862	53,791
無形固定資産		
のれん	4,639	4,207
その他	3,017	2,939
無形固定資産合計	7,657	7,147
投資その他の資産		
投資有価証券	11,413	10,522
関係会社出資金	2,191	2,608
長期貸付金	20	20
退職給付に係る資産	210	336
繰延税金資産	1,881	2,511
その他	7,365	7,147
貸倒引当金	△53	△51
投資その他の資産合計	23,028	23,095
固定資産合計	84,548	84,034
資産合計	141,705	136,103

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,044	6,694
短期借入金	6,103	1,055
1年内返済予定の長期借入金	2,120	2,020
リース債務	99	294
未払費用	4,035	3,447
未払法人税等	2,424	1,623
役員賞与引当金	36	30
資産除去債務	28	28
その他	3,618	4,234
流動負債合計	26,510	19,429
固定負債		
長期借入金	11,330	10,345
リース債務	253	440
繰延税金負債	471	413
役員退職慰労引当金	223	105
退職給付に係る負債	2,893	2,836
資産除去債務	282	282
その他	7,343	9,980
固定負債合計	22,799	24,404
負債合計	49,309	43,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	79,469	79,266
自己株式	△5,215	△5,215
株主資本合計	82,628	82,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	483	555
繰延ヘッジ損益	△197	141
為替換算調整勘定	△63	△483
退職給付に係る調整累計額	△123	△122
その他の包括利益累計額合計	99	90
非支配株主持分	9,668	9,752
純資産合計	92,395	92,268
負債純資産合計	141,705	136,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	56,861	53,314
売上原価	43,257	41,129
売上総利益	13,603	12,184
販売費及び一般管理費		
配送費	2,520	2,418
給料及び賞与	2,135	2,146
役員賞与引当金繰入額	20	20
退職給付費用	85	120
その他	5,763	5,328
販売費及び一般管理費合計	10,525	10,033
営業利益	3,078	2,151
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	86	64
受取ロイヤリティー	926	287
雑収入	105	140
営業外収益合計	1,119	492
営業外費用		
支払利息	41	48
固定資産除却損	30	12
設備撤去費	116	131
持分法による投資損失	845	685
雑損失	108	39
営業外費用合計	1,143	917
経常利益	3,054	1,727
特別利益		
投資有価証券売却益	147	—
固定資産処分益	14	18
受取保険金	254	—
補助金収入	33	—
特別利益合計	450	18
特別損失		
固定資産除却損	—	306
環境対策費	19	—
特別損失合計	19	306
税金等調整前四半期純利益	3,485	1,438
法人税、住民税及び事業税	2,080	1,429
法人税等調整額	△710	△686
法人税等合計	1,369	743
四半期純利益	2,116	695
非支配株主に帰属する四半期純利益	439	255
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,677	440

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,116	695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△183	84
繰延ヘッジ損益	72	△121
為替換算調整勘定	△269	△149
退職給付に係る調整額	△23	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	166	120
その他の包括利益合計	△237	△68
四半期包括利益	1,878	626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,466	431
非支配株主に係る四半期包括利益	411	195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用連結子会社は、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下「IFRS第16号」という。)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

IFRS第16号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,978	9,900	981	56,861	—	56,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	72	32	127	△127	—
計	46,001	9,973	1,014	56,988	△127	56,861
セグメント利益	2,319	286	472	3,078	—	3,078

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,695	9,631	986	53,314	—	53,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	69	37	128	△128	—
計	42,716	9,701	1,024	53,442	△128	53,314
セグメント利益	1,249	459	441	2,151	—	2,151

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年10月15日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、大日本明治製糖株式会社（以下「大日本明治」という。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」という。）に係る株式交換契約（以下「本株式交換契約」という。）の締結を決議し、本株式交換契約を締結いたしました。本株式交換は、2021年2月に開催予定の当社及び大日本明治の臨時株主総会において承認を受けた上で、2021年4月1日を効力発生日として実施される予定です。

詳細は、2020年10月15日発表の「大日本明治製糖株式会社との株式交換契約の締結、吸収分割による持株会社体制への移行、商号の変更並びにその他の関係会社及び主要株主の異動に関するお知らせ」及び「三井製糖株式会社と大日本明治製糖株式会社の経営統合に関する最終契約締結について」をご覧ください。